

沖縄国際大学 学校推薦型選抜試験（スポーツ推薦）評価基準（ルーブリック等）

1) 法学部 法律学科 : 70点

学力の3要素	全学AP	学科AP	選抜方法		
知識・技能	基礎的学力	①社会の動きについて、幅広い関心と知識を持っている人	面接対応	小論文課題	推薦書 調査書
思考力・ 判断力・ 表現力	意欲・関心	②物事を柔軟かつ論理的に考え、自分の意見を的確に表現できる人			
主体性・ 多様性・ 協調性	コミュニケーション能力	③多様な意見に耳を傾け、適切な解決策を導き出す努力ができる人			
配点			15点	15点	40点

2) 競技実績等面接 評価基準（全学部・学科共通）：30点

学力の3要素	全学AP	評価項目	評価手段	配点
知識・技能	基礎的学力	競技成績が本学の求める水準に合致している	実績等記録書 競技実績等面接	15点
思考力・ 判断力・ 表現力	コミュニケーション能力	競技での自らの取り組み内容や工夫について、わかりやすく話すことができる	競技実績等面接	5点
主体性・ 多様性・ 協調性	意欲・関心	大学での競技生活における目標等を述べる ことができる	競技実績等面接	10点
		負傷した際の競技活動との向き合い方について の考えを述べる ことができる	競技実績等面接	

※競技実績等面接は2名で実施

沖繩国際大学 学校推薦型選抜試験（スポーツ推薦）評価基準（ルーブリック等）

1) 法学部 地域行政学科：70点

学力の3要素	全学AP	学科AP	選抜方法		
思考力・判断力・表現力	コミュニケーション能力	2. 地域社会の抱える課題を発見し、これまで学んできた知識をもとにその解決策を論理的に考えることができること。	面接対応	小論文課題	/
		3. 課題解決に取り組む際に、まずは自分自身の考えを持ち、そして他者との意見交換を通して議論を発展させ、一定の成果を挙げることができること。			
主体性・多様性・協調性	意欲・関心	1. 地域社会の出来事や国内外の情勢に強い関心を持ち、地方自治体および民間企業のなかで地域社会の発展のために貢献していこうとする強い意欲や希望、自らの将来計画、更には行動を有していること。		推薦書調査書	
		4. 様々な価値観を持つ他者に対して自ら働きかけ、他者と協働して目標を達成した経験を有していること。			
知識・技能	基礎的学力	5. 国語や社会の科目について、現代社会の課題を発見し解決する能力を向上させようという前提となる知識や読解力・文章力といった、高等学校で身につけるべき基礎的学力を有していること。			
配点			15点	15点	40点

2) 競技実績等面接 評価基準（全学部・学科共通）：30点

学力の3要素	全学AP	評価項目	評価手段	配点
知識・技能	基礎的学力	競技成績が本学の求める水準に合致している	実績等記録書	15点
			競技実績等面接	
思考力・判断力・表現力	コミュニケーション能力	競技での自らの取り組み内容や工夫について、わかりやすく話すことができる	競技実績等面接	5点
主体性・多様性・協調性	意欲・関心	大学での競技生活における目標等を述べるができる	競技実績等面接	10点
		負傷した際の競技活動との向き合い方についての考えを述べるができる	競技実績等面接	

※競技実績等面接は2名で実施

沖縄国際大学 学校推薦型選抜試験（スポーツ推薦）評価基準（ルーブリック等）

1) 経済学部 経済学科：70点

学力の3要素	全学AP	学科AP	選抜方法	配点
思考力・判断力・表現力	コミュニケーション能力	3. それら諸問題について論理的かつ主体的に考察し、行動する意欲がある人物 4. 経済学や関連する諸分野の専門知識を応用し、社会において活躍することを望む人物	面接、推薦書、小論文	面接（20点）、推薦書（調査書と合わせて30点）、小論文（20点）
学びに向かう力・人間性等	意欲・関心	知的特性 1. 経済を含む地域および国際社会の諸問題に強い関心がある人物 2. それら諸問題の解決策を導き出すための幅広い知識獲得に意欲がある人物 行動特性 3. それら諸問題について論理的かつ主体的に考察をし、行動する意欲がある人物 4. 経済学や関連する諸分野の専門知識を応用し、社会において活躍することを望む人物		
知識・技能	基礎的学力	5. 経済学や関連する社会科学分野を学ぶために必要である高等学校卒業程度の基礎学力を有する人物	調査書	推薦書と合わせて30点

2) 競技実績等面接 評価基準（全学部・学科共通）：30点

学力の3要素	全学AP	評価項目	評価手段	配点
知識・技能	基礎的学力	競技成績が本学の求める水準に合致している	実績等記録書 競技実績等面接	15点
思考力・判断力・表現力	コミュニケーション能力	競技での自らの取り組み内容や工夫について、わかりやすく話すことができる	競技実績等面接	5点
主体性・多様性・協調性	意欲・関心	大学での競技生活における目標等を述べることができる 負傷した際の競技活動との向き合い方についての考えを述べることができる	競技実績等面接 競技実績等面接	10点

※競技実績等面接は2名で実施

沖縄国際大学 学校推薦型選抜試験（スポーツ推薦）評価基準（ルーブリック等）

1) 経済学部 地域環境政策学科：70点

学力の3要素	全学AP	学科AP	選抜方法	配点
思考力・判断力・表現力	コミュニケーション能力	地域環境政策学科では、経済の視点から地域と環境を考えることを通して、環境に配慮しながら地域経済の発展に貢献し、持続可能や社会を創造できる人材の育成を目指しています。そこで、本学科では、次の(1)～(4)について自らの言葉で説明できる志願者を求めています。	面接、推薦書、小論文	面接(20点)、推薦書(調査書と合わせて30点)、小論文(20点)
学びに向かう力・人間性等	意欲・関心	(1) 沖縄及び世界の経済や環境の問題、政策に広く関心がある人 (2) 沖縄の過去・現在・未来に関心があり、地域社会に貢献したいという熱意のある人 (3) 社会で起きている様々な事柄に関心を持ち、フィールド(現場)に出て、積極的に活動することが好きな人		
知識・技能	基礎的学力	(4) 大学の授業に耐えうる基礎学力を有し、勉学に対する意欲がある人	面接、調査書	推薦書と合わせて30点

2) 競技実績等面接 評価基準(全学部・学科共通)：30点

学力の3要素	全学AP	評価項目	評価手段	配点
知識・技能	基礎的学力	競技成績が本学の求める水準に合致している	実績等記録書 競技実績等面接	15点
思考力・判断力・表現力	コミュニケーション能力	競技での自らの取り組み内容や工夫について、わかりやすく話すことができる	競技実績等面接	5点
主体性・多様性・協調性	意欲・関心	大学での競技生活における目標等を述べるができる 負傷した際の競技活動との向き合い方についての考えを述べるができる	競技実績等面接 競技実績等面接	10点

※競技実績等面接は2名で実施

合計	100点
----	------

沖縄国際大学 学校推薦型選抜試験（スポーツ推薦）評価基準（ルーブリック等）

1) 産業情報学部 企業システム学科：70点

学力の3要素	全学AP	学科AP	選抜方法	配点
思考力・判断力・表現力	コミュニケーション能力		面接対応	20点
		2. 企業システム学科で学びたい事を自覚し、それを具体的に表現できる	小論文	15点
主体性・多様性・協調性	意欲・関心	3. ビジネスの課題を発見しそれを解決へ導くために、思考力と判断力を発揮して、自分の意見を的確に説明できる		
		知的特性 4. ビジネスへの深い探究心と広い好奇心、そして大学卒業後のビジョンを抱き、地域・国際社会に貢献する意欲を有する		
知識・技能	基礎的学力	行動特性 5. 自分自身が主体的に取り組んできたことや、周りの人たちと協力して取り組んできたことが、大学で学びたいことと結びついている	調査書	
		1. ビジネスの専門的・体系的な学びを通じて自分自身のスキルや能力を鍛えるために必要となる、基礎的学力と教養を身につけている		

2) 競技実績等面接 評価基準（全学部・学科共通）：30点

学力の3要素	全学AP	評価項目	評価手段	配点
知識・技能	基礎的学力	競技成績が本学の求める水準に合致している	実績等記録書	15点
			競技実績等面接	
思考力・判断力・表現力	コミュニケーション能力	競技での自らの取り組み内容や工夫について、わかりやすく話すことができる	競技実績等面接	5点
主体性・多様性・協調性	意欲・関心	大学での競技生活における目標等を述べるができる	競技実績等面接	10点
		負傷した際の競技活動との向き合い方についての考えを述べるができる	競技実績等面接	

※競技実績等面接は2名で実施

沖縄国際大学 学校推薦型選抜試験（スポーツ推薦）評価基準（ルーブリック等）

1) 産業情報学部 産業情報学科：70点

学力の3要素	全学AP	学科AP	選抜方法	配点	
思考力・判断力・表現力	コミュニケーション能力		面接対応	30点	
		産業情報の知識を科学的・論理的に学び国際社会や地域の課題を解決する能力や日本語・外国語について基礎的な知識やコミュニケーション能力を身につけている、あるいはそれらをさらに学ぶ意欲のある人、研鑽しようと努力する人を求めています。	小論文	10点	
主体性・多様性・協調性	意欲・関心	知的特性	大学生生活で自ら進んで深く学ぼうと努め、学生・教員の間で互いの価値観を認めつつ協働して勉学に励みコミュニケーション能力を身につけた学生を求めています。	推薦書	30点
		行動特性	大学生生活で自ら進んで深く学ぼうと努め、学生・教員の間で互いの価値観を認めつつ協働して勉学に励みコミュニケーション能力を身につけた学生を求めています。		
知識・技能	基礎的学力	「情報」「経済」「語学」など実学に幅広く興味・関心があり、それらを深く学びたいと思う態度や、それらを学ぶ上で基礎的な知識・学力を身につけている学生を求めています。	調査書		

2) 競技実績等面接 評価基準（全学部・学科共通）：30点

学力の3要素	全学AP	評価項目	評価手段	配点
知識・技能	基礎的学力	競技成績が本学の求める水準に合致している	実績等記録書	15点
			競技実績等面接	
思考力・判断力・表現力	コミュニケーション能力	競技での自らの取り組み内容や工夫について、わかりやすく話すことができる	競技実績等面接	5点
主体性・多様性・協調性	意欲・関心	大学での競技生活における目標等を述べるができる	競技実績等面接	10点
		負傷した際の競技活動との向き合い方についての考えを述べるができる	競技実績等面接	

※競技実績等面接は2名で実施

沖縄国際大学 学校推薦型選抜試験（スポーツ推薦）評価基準（ルーブリック等）

1) 総合文化部 日本文学学科：70点

学力の3要素	全学AP	学科AP	選抜方法	配点	配分
思考力・判断力・表現力	コミュニケーション能力(※ 日本語では言語コミュニケーション能力と捉える)	3. 地域社会、国際社会、多文化社会、高度情報社会の中で生じるさまざまな課題を解決するために必要となる、基礎的な思考力・判断力・表現力(読解力を含む)を身につけている人	推薦書	35	10
			面談		15
			小論文		10
学びに向かう力・人間性等	意欲・関心	1. 言語・文学を中心とする日本文化及び琉球文化、またグローバル時代に求められる多様なコミュニケーションについて主体的に学ぼうとする意欲・関心をもつ人	面談	10	10
思考力・判断力・表現力等、 学びに向かう力・人間性等、 知識・技能	基礎的学力	2. 1.の学びを深めるための基礎学力をもつ人	調査書	25	25

2) 競技実績等面接 評価基準（全学部・学科共通）：30点

学力の3要素	全学AP	評価項目	評価手段	配点
知識・技能	基礎的学力	競技成績が本学の求める水準に合致している	実績等記録書	15点
			競技実績等面接	
思考力・判断力・表現力	コミュニケーション能力	競技での自らの取り組み内容や工夫について、わかりやすく話すことができる	競技実績等面接	5点
主体性・多様性・協調性	意欲・関心	大学での競技生活における目標等を述べる ことができる	競技実績等面接	10点
		負傷した際の競技活動との向き合い方 についての考えを述べる ことができる	競技実績等面接	

※競技実績等面接は2名で実施

沖縄国際大学 学校推薦型選抜試験（スポーツ推薦）評価基準（ルーブリック等）

1) 総合文化部 英米言語文化学科：70点

学力の3要素	全学AP	学科AP	選抜方法		
学力におか う力・人間 性など	意欲・関心	1) 英語圏の言語・文化への関心	面談（日英語 口頭試問） （15分）	推薦書 調査書	小論文
		2) 英語力向上への主体的な取り組み			
		3) グローバルな人材への意欲			
		4) 他者と協働する姿勢			
思考力・ 判断力・ 表現力	コミュニケー ション能力	6) 対人関係力			
		7) 課題解決に必要な思考・判断・表現 力			
知識・技能	基礎的学力	5) 多言語・多文化理解に必要な基礎的 学力			
配点			20点	35点	15点

2) 競技実績等面接 評価基準（全学部・学科共通）：30点

学力の3要素	全学AP	評価項目	評価手段	配点
知識・技能	基礎的学力	競技実績が本学の求める水準に合致して いる	実績等記録書	15点
			競技実績等面接	
思考力・ 判断力・ 表現力	コミュニケー ション能力	競技での自らの取り組み内容や工夫につ いて、わかりやすく話すことができる	競技実績等面接	5点
主体性・ 多様性・ 協調性	意欲・関心	大学での競技生活における目標等を述べ ることができる	競技実績等面接	10点
		負傷した際の競技活動との向き合い方 についての考えを述べるができる	競技実績等面接	

※競技実績等面接は2名で実施



沖縄国際大学 学校推薦型選抜試験（スポーツ推薦）評価基準（ルーブリック等）

1) 総合文化部 社会文化学科：70点

学力の3要素	全学AP	学科AP		選抜方法	配分	配点
思考力・判断力・表現力	コミュニケーション能力			面接対応	36%	25点
		自らの問題意識のもと、フィールド（現場）に出て積極的に情報を集め考え判断（項目4）		小論文	21%	15点
学びに向かう力・人間性等	意欲・関心	知的特性	沖縄を理解するための知的好奇心と知的探究心（項目1）			
			沖縄をとりまく世界の社会や文化の動きに深い興味と関心（項目2）			
		行動特性	主体的に行動（項目4）	調査書	36%	25点
			学内外の活動に対する主体性と協調性をもった取り組み（項目5）			
知識・技能	基礎的学力	沖縄をとりまく世界の問題と向き合うための基礎学力（項目3）				

2) 競技実績等面接 評価基準（全学部・学科共通）：30点

学力の3要素	全学AP	評価項目	評価手段	配点
知識・技能	基礎的学力	競技成績が本学の求める水準に合致している	実績等記録書	15点
			競技実績等面接	
思考力・判断力・表現力	コミュニケーション能力	競技での自らの取り組み内容や工夫について、わかりやすく話すことができる	競技実績等面接	5点
主体性・多様性・協調性	意欲・関心	大学での競技生活における目標等を述べるができる	競技実績等面接	10点
		負傷した際の競技活動との向き合い方についての考えを述べるができる	競技実績等面接	

※競技実績等面接は2名で実施

沖縄国際大学 学校推薦型選抜試験（スポーツ推薦）評価基準（ルーブリック等）

1) 総合文化部 人間福祉学科（社会福祉専攻）：70点

学力の3要素	全学AP	学科AP	選抜方法	配点
思考力・判断力・表現力	コミュニケーション能力	2. 大学で学びたいことと自分自身の将来像とのつながりについて、的確に説明できる人物か。	面接対応	20点
	意欲・関心	3. 国内外の社会問題、生活問題等について強く関心をもつ人物か		
主体性・多様性・協調性	意欲・関心	3. 国内外の社会問題、生活問題等について強く関心をもつ人物か	小論文（論述評価）	15点
知識・技能	基礎的学力	5. 社会福祉を科学的に学ぶ（他者の声を聞き取り、要点を整理し、記述する）ための基礎的学力を有する人物か。		
主体性・多様性・協調性	意欲・関心	4. 社会参加および社会貢献に対して、意欲や積極的な姿勢をもつ人物か。	推薦書	15点
知識・技能	基礎的学力	5. 社会福祉を科学的に学ぶ（他者の声を聞き取り、要点を整理し、記述する）ための基礎的学力を有する人物か。	調査書	20点
	主体性・多様性・協調性	4. 社会参加および社会貢献に対して、意欲や積極的な姿勢をもつ人物か。		

2) 競技実績等面接 評価基準（全学部・学科共通）：30点

学力の3要素	全学AP	評価項目	評価手段	配点
知識・技能	基礎的学力	競技成績が本学の求める水準に合致している	実績等記録書	15点
			競技実績等面接	
思考力・判断力・表現力	コミュニケーション能力	競技での自らの取り組み内容や工夫について、わかりやすく話すことができる	競技実績等面接	5点
主体性・多様性・協調性	意欲・関心	大学での競技生活における目標等を述べるができる	競技実績等面接	10点
		負傷した際の競技活動との向き合い方についての考えを述べるができる	競技実績等面接	

※競技実績等面接は2名で実施

沖縄国際大学 学校推薦型選抜試験（スポーツ推薦）評価基準（ルーブリック等）

総合文化部 人間福祉学科（心理カウンセリング専攻）：70点

学力の3要素	全学AP	学科AP	選抜方法		
思考力・判断力・表現力	コミュニケーション能力	（前文）人間のこころに関心を持ち、自らの個性と人間力の向上に努める人物であるか。  1. 人間の「こころと行動」と「人と人とのつながり」について科学的視点から学ぶ意欲と関心を持つ人物であるか。  2. これまでに意欲的に取り組んできた活動や得意分野を大学での学びに結びつけ、さらに、心理学の知識や技術を今後のキャリア形成や日常生活に実践的に応用したいという真摯な態度を持つ人物であるか。	面接対応	小論文課題	推薦書 調査書
主体性・多様性・協調性	意欲・関心				
知識・技能	基礎的学力				
配点			30点	20点	20点

2) 競技実績等面接 評価基準（全学部・学科共通）：30点

学力の3要素	全学AP	評価項目	評価手段	配点
知識・技能	基礎的学力	競技成績が本学の求める水準に合致している	実績等記録書	15点
			競技実績等面接	
思考力・判断力・表現力	コミュニケーション能力	競技での自らの取り組み内容や工夫について、わかりやすく話すことができる	競技実績等面接	5点
主体性・多様性・協調性	意欲・関心	大学での競技生活における目標等を述べるができる	競技実績等面接	10点
		負傷した際の競技活動との向き合い方についての考えを述べるができる	競技実績等面接	

※競技実績等面接は2名で実施